

太陽光発電設置時における パワーコンディショナの定格負荷効率の扱いについて

- 2017年3月の系統連系規程の改定により、低圧連系時の標準力率0.95の運用が定められました。これにより、低圧連系時にはパワーコンディショナの力率を標準力率0.95にて運用されることになりました。
- これを受けて、パワーコンディショナには従来の力率1.0時の値に加え、力率0.95時の値が記載されています。

品名	××××
型式	××××
定格入力電圧	DC310V
入力運転電圧範囲	DC50～450V
相数	
定格出力	4.0kW（力率1.0時） 3.8kW（力率0.95時）
定格容量	4.0kVA
定格力率	0.95

定格出力電圧	AC202V
定格出力周波数	50/60Hz
設置場所	屋内
出力電力ひずみ率
効率	96%（力率1.0時） XX%（力率0.95時）
質量	XX.Xkg
外形寸法(mm)
.....

左記の仕様表は、
太陽光発電協会
「太陽光発電協会
表示ガイドライン、
解説編（平成30
年度）」から抜粋

<参考>

※一般社団法人日本電気協会：系統連系規程 JEAC9701-2016[2017年 追補版（その1）]

※太陽光発電協会：太陽光発電用パワーコンディショナの力率一定制御の対応について、

http://www.jpea.gr.jp/pdf/rikiritsu_qa.pdf

※太陽光発電協会：太陽光発電協会 表示ガイドライン、解説編（平成30年度）、

http://www.jpea.gr.jp/pdf/guideline_h30_kaisetsu.pdf

太陽光発電設置時における パワーコンディショナの定格負荷効率の扱いについて

エネルギー消費性能計算プログラム(住宅版) Ver 2.6.5

読み込み 保存 設計値 MJ/年 詳細 計算 出力

基本情報 外皮 暖房 冷房 換気 熱交換 給湯 照明 太陽光 太陽熱 コージェネ

太陽光発電

太陽光発電設備の設置 設置しない 設置する

方位の異なるパネルの面数 1面 2面 3面 4面

パワーコンディショナの定格負荷効率の入力 入力しない 入力する

パワーコンディショナの定格負荷効率 %
(小数点以下1桁)

- ▶ カタログ等に力率1.0時の効率と力率0.95時の効率とが併記されている機種について
 - WEBプログラムにおいては、力率0.95時の値を入力して下さい。
 - ただし、2020年3月末日までは、既に力率1.0時の値で評価の申請受付をしている場合に限り、力率1.0時の値を入力することができます。
- ▶ カタログ等に力率0.95時の効率のみが記載されている機種について
 - WEBプログラムにおいては、力率0.95時の値を入力して下さい。
- ▶ カタログ等に力率1.0時の効率のみが記載されている機種について
 - WEBプログラムにおいては、力率1.0時の値を入力して下さい。